



# 若草園を支える会 会報 後援会だより

平成22年(2010)11月11日発行 第5号  
 事務局：社会福祉法人 栄光会 若草園 内  
 〒787-0155 高知県四万十市下田2211  
 Tel (0880)33-0247/Fax 33-0518  
 IP電話(050)3344-8850  
 会長：山崎祥正



取引口座 郵便局 01610-5-9632 社会福祉法人 栄光会 若草園  
 幡多信 下田支(普)0083497 「若草園を支える会」会長山崎祥正

機関紙『わかくさ』第15号をお届けします。 . . . .

## ◆あらためて会のあらましについて

「若草園を支える会」は新園舎の建設のさなか、平成20年2月に発足しました。園舎の建替の目的としては次のようなものがありました。①老朽化と耐震対策での必要性、②定員オーバーの対策(増員)、③乳幼児施設としての機能強化、④地域の子育て支援部門の設立(児童家庭支援センター事業)。新園舎の建設には機能性からも建設費用がかさみました。このため今後20年にわたって年間数百万円の借金返済をする事になりました。



財政難については、職員の昇級見合わせなどで自助努力して、児童の養育費に無理がないように工夫しております。ところが、昨年度のように突然、公用車が故障して買い換えの必要が生じた時など、突発的な資金運用が困難な一面もありました。お蔭さまで、2年間蓄えてきた支える会の資金によって、軽自動車を購入することが出来、若草園に提供することが出来た経緯があります。

また、今年の3月に園を巣立った児童の1人は就職をするのに運転免許が必要とされていまして。ところが、自分の蓄えも無く、縁故者の援助も受けられず、自動車学校に通う費用がありませんでした。この児童のために、支える会から援助をしました。会報第3号に本人からの礼状を掲載しましたが、とても助かりました。夏休みに彼が帰省した時、園にも訪れ、「冬のボーナスなどで少しずつでもお返ししたい」としっかりとした挨拶をしてくれ、職員一同よろこび職場へと再び送り出したことでした。

この様に、これからも、児童によっては希望する進路にすすもうとしても、経済的な後押しが無いために断念せざるを得ない場合も考えられます。これから支える会の働きとしては、そんな所にも手を差し伸べて行ければと願わされております。

これからも、皆さまの継続的なご協力を賜りながら、有意義な活動を繰り広げられればと思います。よろしくお願い申し上げます。



## ◆各市町の校長会を訪問

若草園の現況報告と、支える会へのご理解とご協力を求めて、8.23 宿毛市、9.3 四万十市、9.6 黒潮町、9.9 土佐清水市、10.14 四万十町でそれぞれ開催された小中学校長会に若草園長と支える会々長で訪問しました。

各市町村の子どもたちがそれぞれの場所に家庭復帰したときのためにも、各地との連絡は必要です。 ※ この表は、児童の親権者または関係者が居住している地域で

▼市町村別の児童内訳

集計しており、児童の出身地を表したものではありません。

中村 (四万十市)	宿毛	清水	黒潮	大月	四万十町	三原	その他	計
16	9	7	7	4	1	1	4	49



## ◆ 中間決算を行う

前号でH22年度の会員募集をしたところ、2ヶ月間で170名余りの方が更新をしてくださいました。また、校長会の訪問で加速的に更新と新規の会員が増強され、9月末現在で合計 528名となりました。内訳は、学校関係 402名（うち、校長会に依頼しての加入352名）、若草園 22名、人権委員 20名、民生員 14名、その他 71名です。

会費も ¥711,230（寄付等含む）集まり、会報用紙代・送料などの支出 ¥86,617と前年繰越を差し引きして、残高 ¥832,896（うち70万円短期の定期預金）になりました。

感謝して報告させていただきます。

引き続き新規・継続の会員を募集しておりますので、まだ更新いただいていない方は、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## ◆ 領収証の同封について

5月の総会で討議させていただきましたが、今年度から会費の領収証を会報の発行時に同封して送付させていただくことになりました。昨年度、会費収入が約55万円でしたが、送料支出が約12万円で、この中には領収証の送料も含まれております。前号で報告しましたとおり、会報は佐川急便さんとの契約で格安に送付できるようになりました。事務費支出を抑えながら、なるべく実際に子どものために尊い資金が運用されるべきとの判断ですので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## ◆ 直近に郵便局で更新された方へ

会報の発送準備には1週間ほど時間を要しますので、その間にゆうちょで「払込取扱票」（赤い用紙）にて会費を納入された方は、処理タイミングの関係で領収書が同封できていない場合があります。

その他の場合でもご不明な点がございましたら、いつでも事務局（若草園）にお電話ください。

✉事務局直通メール  
wakakusaenjimu@  
yahoo.co.jp

### ★事務局のこぼればなし

前号から機関紙「わかくさ」が2色刷りになりました。これは園のプリンターの保守契約の網の目をくぐって「2色刷りまではモノクロと同料金」を活用して実施したものです。1カウント¥4.3ですので、両面で¥8.6で仕上がっています。本来カラートナーは高価なのですが、トナー込みの契約なので、ずいぶん助かっています。

用紙は季節に合わせて同じような若草色ですが微妙に変化させています。まとめ買いして1枚¥7.6になっています。

後援会便りも園内の輪転機で印刷ですので、用紙代の¥3とインク代が限りなく¥0に近いランニングコストで製作できています。

封筒も茶封筒に内製印字で¥8.4でできました。ボール紙生地の荒々しい封筒でしたが、デザイン上、かわいらしくナチュラルな感じがして、おかげさまで好評を得ております。1通あたりの用紙類費用が¥30以内で仕上がっている事になります。

送付に当たって佐川急便さんには宛名ラベルも提供していただくようになりましたので、これだけでも毎回数千円は助かっています。

事務局内部の名簿、帳簿など書類は、すべて若草園の事務上不用になった紙や、ミスコピーの裏面を活用しています。…皆様のご浄財を有効に使うため、事務局の経費節減の努力は続くのであります。

会報・機関紙の送付が不要になった方は若草園にご連絡ください。知友に紹介する方、最近届かなくなった方もどうぞ。

